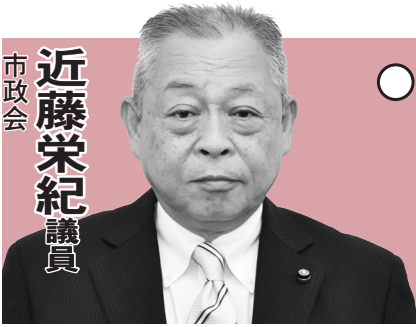


○勝山高校の今後について

近藤栄紀議員
市議会



その他の質問
・恐竜博物館構想について
・高齢者の交通手段について

問 勝山高校の魅力を高めるため、鯖江高校のように、バドミントンやスキーに特化したスポーツコースの新設要望がでないものか伺う。

また、進学率及び難関大学の合格率を上げるため、勝山市独自の進学塾、または民間へ委託、通信制予備校などの手段が考えられるが、市はどのような対応策を考えているか伺う。

答 生徒や保護者にとって魅力あるコースが設けられれば、勝山高校の活性化や志願者の増加に資するものとは考える。

しかし、様々な条件整備が必要になるなど課題が多いため、「科」やコースを直ちに新設することは難しいのではないかと考えるが、県高等学校教育問題協議会の議論をはじめ、県教委や勝山高

校との協議を通じ、勝山市として勝山高校の特色づくりと魅力向上の方策の具現化に向けて努力していきたいと考えている。

勝山市独自の進学塾や通信制予備校などについては、現在、市として対応可能な支援策について、勝山高校とも協議しながら検討を行っている。その中で、例えば大手進学塾の公設民営方式などが考えられるが、多額の費用を要するなどの課題があるため、できれば教員OBによる塾を開設できないか研究しているところである。しかし、適切な人材をどのように確保するかが大きな問題であり、今後、具体案が示せる段階で、議会にも相談させていただきたいと考えている。

○勝山市の野外教育施設について

帰山寿憲議員
市議会



問 勝山市のキャンプ場は東山いこいの森と岩屋オートキャンプ場であるが、今後の運営方針はどうか。また、既存の森林公園、温泉センター「水芭蕉」等を新たな施設として活用できないか。

答 東山いこいの森の今後の運営方針について、東山いこいの森ならではの魅力を今後もPRし、多様なキャンプ形態の受け皿の一つとして、引き続き利用者に愛され、利用しやすい施設を目指すとともに、必要な修繕を見極め、適正な維持管理を行いながら運営していきたいと考えている。

岩屋オートキャンプ場は公共施設の適正管理に係る計画において令和2年度までに廃止を検討するとなっている。その理由は、今後の管理受託者の確保の見通しが立って

いないことである。今後の方針としては、運営委託だけではなく民間への譲渡等も含めた様々な観点から継続の是非について検討していく。

温泉センター「水芭蕉」については指定管理者である東急リゾートサービスの見解も聞きながら、キャンプ場専用のオートキャンプ施設の設置について研究していきたいと考えている。

勝山森林公園については、インフラも整っているためキャンプ場としての条件は揃っているものと考えている。今後は市が運営に関わるキャンプ場などの野外施設について、教育的観点も踏まえつつ、総合的な配置や民間活力の導入も視野に入れながら、様々な方向性について検討していく。